

株式会社シマヤ 健康経営レポート 2019

ごあいさつ



2019年2月21日、株式会社シマヤは経済産業省と日本健康会議が進める健康経営優良法人認定制度において、「健康経営優良法人 2019（ホワイト 500）」に認定されました。

私たちはこれからも、「和して創る」、「自然の恵みを大切にし、『やさしく、おいしく、たのしく』にこだわり、和み商品を提供することにより、お客様の健康で豊かな楽しい食生活に貢献する」という経営理念のもと、社員ひとりひとりが家族ともども、身も心も健やかで生き活きと、そして最高のパフォーマンスを発揮することができるよう、健康経営の取組みを推し進めて参ります。

代表取締役社長 原田 道太



健康経営優良法人認定制度とは、地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。健康経営に取り組む優良な法人を「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として社会的に評価を受けることができる環境を整備することを目標としています。（経済産業省ホームページ「健康経営優良法人認定制度」より転載）

健康経営宣言

株式会社シマヤ 健康経営宣言

株式会社シマヤは、東洋水産グループ健康経営方針および株式会社シマヤ経営理念に基づき、会社にとってかけがえのない財産である社員とその家族の心身の健康の維持・増進を図り、生き生きとした職場で最高のパフォーマンスを発揮し、活力と生産性を共に向上させるべく「健康経営」の実現に向けた取組みを推進することを宣言します。

☆東洋水産グループ 健康経営方針☆

「社員に笑顔 ～ 社員一人ひとりが笑顔で活躍できる職場づくり」
心身の健康の維持・増進に自ら努めるとともに、いきいきと活力のある職場を創り、より笑顔のある未来を世の中の人々に提供し続けることのできる会社を目指します。

☆株式会社シマヤ 経営理念☆

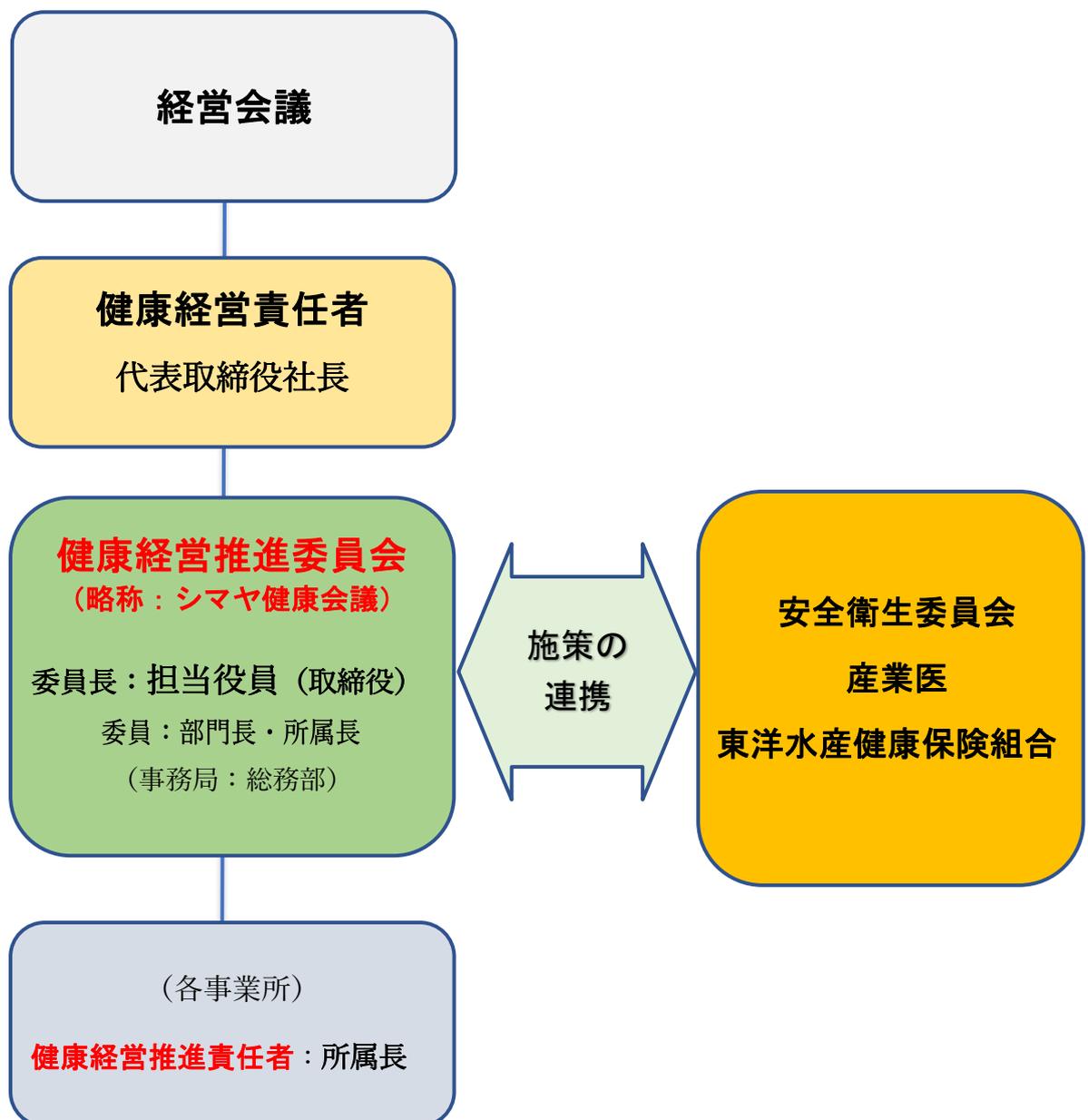
自然の恵みを大切に、「やさしく、おいしく、たのしく」にこだわり、和み商品を提供することにより、お客様の健康で豊かな楽しい食生活に貢献します。

経営ビジョン「和して創る」

和食へのこだわりと、お客様との和、地球環境との和、地域社会との和、社員の和、お取引先様との和を通して、健康で楽しい食生活に貢献できる「和み商品」を提供し続けます。

健康経営推進体制

株式会社シマヤでは、「社員と家族の健康」をとっても重要な経営課題のひとつであると考え、代表取締役社長を健康経営責任者として、健康経営の取組みを推し進めます。推進体制として、2018年11月に健康経営責任者の下に、担当役員（取締役）を委員長、各部門の部門長や所属長を委員とした健康経営推進委員会（略称：シマヤ健康会議）を設置し、安全衛生委員会、産業医、保険者（東洋水産健康保険組合）と連携して健康経営実現に向けた施策の立案、実行と検証を行っています。



シマヤの健康課題と目標

1. 有給休暇の取得促進 ～ 2020年度70%を目指します

健康経営への取組み開始以前の当社の有休取得率は2016年度で59.1%（うち、正社員は41.1%）であり、政府が「第4次男女共同参画基本計画」のなかで示した「2020年度までに、有給休暇の取得率を70%にする」という目標からは乖離していました。2017年度からの取組みでは、この政府目標である「2020年度までに70%」を当社の目標としています。

2. 受動喫煙防止の強化 ～ 2022年度喫煙者率20%未満を目指します

当社の喫煙者率は、2017年度で約26%ありました。受動喫煙防止の観点から、2018年度には全ての事業所で屋内の喫煙所を撤去し、屋内全面禁煙としました。2019年以降も「受動喫煙防止の強化＝喫煙率の引下げ」に繋がる追加の施策を行い、取組み開始から5年後の2022年度に喫煙者率20%未満を目標としています。

3. 女性の健康課題への取組み強化 ～ 2022年度のセミナー受講率100%を目指します

働く女性の増加により男女が職場で関わる機会が増加しているにもかかわらず、「女性の健康課題についての知識や理解が不足し、対処方法も分からない」というのが当社の現状ですが、2018年度まではこれを克服するための十分な取組みができていませんでした。2019年度よりこの課題についてのセミナーを開始し、2022年度までに、すべての社員がセミナーを受講し、必要な知識と理解を得ることを目標としています。

4. 二次検診受診率の改善～ 2022年度の受診率100%を目指します

生活習慣病などの疾病の重症化予防として、有所見者の二次検診の受診は大変重要ですが、2016年度までは有効な受診勧奨ができておらず、2017年度から受診勧奨方法を見直したものの、2018年度でも二次検診受診率は78%に留まっています。これを、2022年度までに有所見者の受診率100%を目標としています。

2018年度の健康経営の取組み

1. シマヤでの取組み

- | | |
|----------------|--|
| (1) 生活習慣病重症化予防 | 健康診断有所見者への二次検診受診勧奨 |
| (2) メンタルヘルス | すべての社員を対象にストレスチェックを実施 |
| (3) ワークライフバランス | ①すべての事業所で週1回以上のノー残業デイを設定
②有給休暇の取得促進と時間外・休日労働抑制の実施 |
| (4) 受動喫煙防止 | ①すべての事業所において屋内禁煙
②すべての社用車において車内禁煙 |
| (5) 食生活改善 | 社員向け飲料自動販売機や弁当メニューへの熱量表示 |

2. 東洋水産健康保険組合の協力による取組み

- | | |
|----------|--|
| (1) 疾病予防 | ①人間ドック、脳ドック、婦人科検診の費用補助
②インフルエンザ予防接種の費用補助
③特定保健指導の非対象者への保健師面談 |
| (2) 健康増進 | ①健保組合主催のウォーキングイベントへの参加
②業務用体組成計を用いた健康測定会の実施 |
| (3) 健康講話 | 産業医事務所の保健師による健康に関する講話開催
演題：①「インフルエンザ予防」、②「タバコの害」 |

3. 行政との取組み

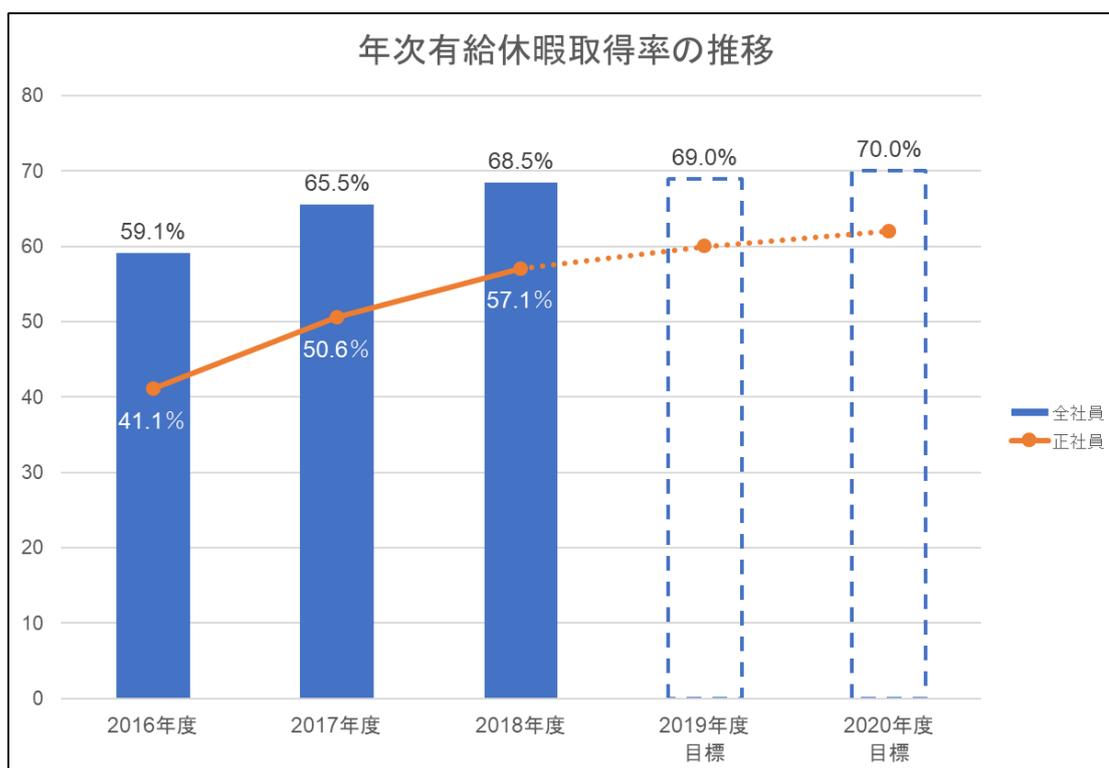
(本社所在地の山口県周南市との協働)

- | | |
|------------------------------|---|
| (1) しゅうなんスマートライフ推進協賛事業者として活動 | 健康寿命をのぼす市民運動である「しゅうなんスマートライフ」に協賛し、「チャレンジウォーキング」、「禁煙チャレンジ」、「お腹ぺったんこチャレンジ」、「サンサン（3カ月で3kg減量）チャレンジ」などに社員が参加 |
| (2) 食生活改善セミナー | 食生活改善を通じた健康保持セミナー開催
テーマ：①健康講座&バランス弁当試食会、②減塩講座 |
| (3) 階段利用促進 | エレベータをやめて階段利用を勧めるステッカー貼付
(ステッカーは周南市作成) |

2018年度までの振り返り

1. 有給休暇取得率

	2016年度	2017年度	2018年度	評価
有給休暇取得率 (うち、正社員)	59.1% (41.1%)	65.5% (50.6%)	68.5% (57.1%)	○

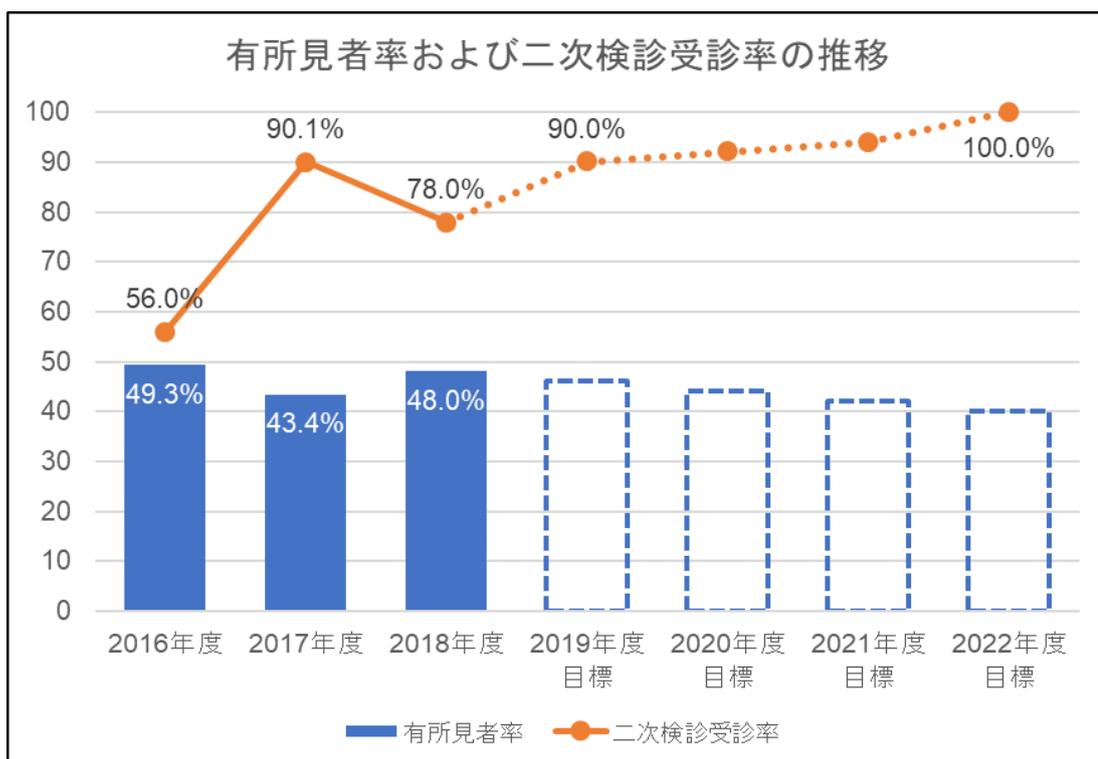


2. 有所見者率

	2016年度	2017年度	2018年度	評価
有所見者率	49.3%	43.4%	48.0%	△

3. 二次検診受診率

	2016年度	2017年度	2018年度	評価
二次検診受診率	56.0%	90.1%	78.0%	△



4. 一人当たり医療費

	2016年度	2017年度	2018年度	評価
一人当たり医療費	132,755円	143,122円	133,709円	○

